

第16期
事業報告書

自 2024年 4月 1日
至 2025年 3月 31日



／ みつけた！私にできること。 ／

一般社団法人
盲導犬総合支援センター

第16期事業（2024/4/1～2025/3/31）について

振り返れば、気候変動、災害、円安、資源・物価の高騰など、社会全体が多くの変化に直面した一年でした。特に能登地域では、震災復興の最中に発生した豪雨や土砂災害がさらなる被害をもたらし、自然の猛威に心を痛めるとともに、被害に遭われた皆さまには、改めて心よりお見舞い申し上げます。

国際社会においても、戦火や対立が続くなか、複雑な地政学的リスクが日々の暮らしや経済にまで影響を及ぼし、遠くで起こる出来事が、すぐそばの生活と密接に繋がっていることを、改めて痛感した1年でもありました。

そうした流れの中で迎えた16期。休職していたスタッフの復帰や新たな仲間の加入など、前期を大きく上回る人員で、より活気ある体制でのスタートとなりました。社会全体の変化に柔軟に、事業の根本にある「伝えること」「支えること」「続けること」、それぞれの意味を改めて見つめ直し、歩みを進めてきました。

一方、粗利面での事業環境は、コスト高騰の影響により一層の厳しさを増し、従来の“当たり前”を見直さざるを得ない局面もありました。それでも、チャリティーグッズ購入を通じて応援してくださる方々の想いを、育成団体はじめ、盲導犬ユーザー・ボランティアへの支援の輪として還元することができました。また医療面においても、全国盲導犬使用者の会、被災犬保護施設へ医療費補助という形で、継続した寄付・支援を行い、お客様と社会に対して“揺るがぬ安心”を提供するという姿勢を保ち続けています。

また、2年前に初めて1,000名を超えた「ファンクラブ会員」は、現在約1,300名にまで増加。小さな活動一つひとつに共感し、応援してくださるお客様の存在が、私たちにとって何よりの励みとなり、変わらぬ大きな支えとなっています。

生成AIやデジタル技術が急速に進化する今、私たちは「人間らしさ」や「つながりの温度」を忘れずに、テクノロジーを有効に取り入れながらも、“誰かのために行動する気持ち”を原動力に、スローガン「みつけた！わたしにできること」を実践し続けています。ビジネスとサポート、その両輪を丁寧に回しながら、これからも一步一步、誠実に歩んでまいります。

誰かのためにできることを考え、行動に移す。たとえすぐに成果が見えなくても、誠実さを積み重ねていく。その積み重ねこそが、私たち「盲導犬総合支援センター」の価値を育み、未来への創造につながるものと信じています。これからもすべてのステークホルダーの皆様と共に、笑顔を生み出す明日を築いてまいります。

今後とも変わらぬご愛顧賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。
それぞれの事業の詳細は、以下の通りとなります。

1. 店舗事業

(1) 神奈川、仙台、富士宮（計3店舗）で商品販売を行った。

(i) 全国の盲導犬ユーザー、飼育ボランティアへの飼育用品販売

(ii) 日本盲導犬協会へ犬具及びドッグフード販売

(iii) 共同訓練中ユーザーへの推薦される飼育用品紹介と販売

(iv) 施設見学者、来訪者に対してのチャリティーグッズ販売

(v) 施設外イベントでのチャリティーグッズ販売

A) 日本盲導犬協会との共同参加イベント

・コミックシティ東京12回、玉川高島屋盲導犬ふれあい広場1回、

ダイエー補助犬ふれあいコーナー12回、

そごう千葉・大宮盲導犬キャンペーン4回、

西武池袋本店・東戸塚店もっと知ってキャンペーン3回

B) その他社内販売、地域団体、取引先イベント

・ライオンズクラブ国際協会所属地域団体、国際福祉機器展、サイトワールド、

明治安田生命保険相互会社、NECチャリティーコンサート、

日立システムズ、ジョイフル本田千葉ニュータウン店など 全38回

(2) その他販売活動を行った。

(i) 富士ハーネス併設ドッグランの使用料販売（富士宮）

(ii) 盲導犬育成団体へのハーネス胴輪、ハンドル及び飼育用品販売

・東日本、関西、中部、北海道、九州、いばらき

(iii) 日本介助犬協会へのドッグフード販売

(iv) 日本盲導犬協会を経由した海外育成団体への飼育用品販売

(v) 視覚障がい者へのリハビリテーショングッズ販売（仙台）

(3) 日本盲導犬協会主催イベント補助

日本盲導犬協会が主催するイベントの運営協力及び商品協賛1回

・オンラインボランティア懇親会（神奈川）

・ビンゴ大会の参加チケットのネット販売、景品の協賛

(4) 支援、協力業務

日本盲導犬協会からの委託業務及び支援活動を行った。

(i) ハーネス胴輪、ハンドルに関する販売他、管理業務

・胴輪、バーハンドルのメーカー企業との調整、使用後の修理サービス

・盲導犬ユーザーが購入後1年以内の補償対応

・協会使用本数の管理及び在庫資産の棚卸管理と報告 22品種 149点

(ii) パピー委託用品

・パピーウォーカーへの飼育に必要な用品準備

(iii) 盲導犬ユーザーが必要とする用品の開発及び安価提供

A) 分包凝固剤の自社開発

旧製品の製造終了に伴い、自社での製造体制へ移行した。

従来品よりも凝固性能を向上させるとともに、コストの見直しを行い、より安価での提供を可能とした。

B) 盲導犬用革リードの商品開発

3年前のメーカー廃業により供給が途絶えていた。日本盲導犬協会訓練部協力のもと、約1年にわたり試用を重ねた結果、品質と使用感の確認が取れ、令和7年5月以降の再販売に向けた体制を整えた。

C) ハーネスバッグのリニューアル開発

現行品からの改良を目的としたリニューアル開発を実施した。大きさや重量、使い勝手を見直し、より利便性を高めた新モデルが完成。翌年度9月以降での販売開始を目指している。

(iv) その他

- ・縫製内職ボランティアへの盲導犬専用コート、敷物の縫製作業依頼の調整及び材料の調達
- ・盲導犬専用コートのサイズ直し、修理の対応、調整
- ・飼育や犬用品に関する情報発信（メルマガ：月2回）

(5) フード事業

(i) 日本盲導犬協会ドッグフード支援制度の運営

- ・所属する盲導犬ユーザー及び飼育ボランティアの登録、管理
- ・利用者推移及び利用状況の報告
- ・指定フード及び推奨飼育用品の販売

(ii) 関西盲導犬協会ドッグフード提供業務の運営

- ・所属する盲導犬ユーザーの登録及び利用状況の報告
- ・指定フード及び飼育用品の販売

(iii) その他販売

- ・全国の盲導犬ユーザー、飼育ボランティアへのドッグフード及び飼育用品販売
- ・個人向けドッグフード販売価格据え置きでの提供を継続

(iv) ドッグフード在庫

- ・欠品や災害等有事に備え、利用者のフード約500袋を常備した。

仙 台（約340袋）：アイムス、ユーカヌバ、アボダーム

ニュートロ、プロプラン、ロイヤルカナン、ヒルズ製品
ドクターズ、ホリスティックレセピー製品

神奈川（約145袋）：ホリスティックレセピー、ヒルズ、プロプラン製品
スーパーゴールド、ロイヤルカナン製品

富士宮（約15袋）：プロプラン、ロイヤルカナン製品

- ・ドッグフードの欠品、終売時、多様な方法での商品確保を行った。

(v) 令和6年能登半島地震での被災盲導犬ユーザー支援

- ・ホリスティックレセピー18kg×1袋

2. 法人営業

(1) チャリティーグッズ大口受注

企業、学校、保育園、ボランティア団体へ向けて、販促品、記念品、イベントでの販売品、ユニフォーム、社内備品等において盲導犬チャリティーグッズの活用提案及び販売を行い、各所ニーズに応じた盲導犬普及活動へ寄与した。

シャルマートダイアナ、ワタナベ葬儀社、関西盲導犬協会、三信商会、新日本カレンダー、東日本盲導犬サポーターの会、サニクリーン、MIKI-500、荻窪法人会、ヤマザキ動物専門学校、WANCOTT、榛原、瀬戸内海放送、IHG・ANA ホテルズ労働組合連合会、他全 58 社

(2) オリジナルグッズの受注製作

支援企業、法人に対し、より独自性を持たせた盲導犬普及活動として、コラボデザインによる営業販促品、ユニフォーム、カレンダーなどの立案。その他、企業の社会貢献活動提案からの、オリジナル商品におけるデザイン制作、商品受注、納品を行った。

てくてく保育園、エムエム建材、ゆみ動物病院、MIKI-500、フォレストモモ、平和会ペットメモリアル、ナンセイ SHIPPING、サンギ、オンデーズ、ハイメン
他全 25 社

(3) 盲導犬チャリティーボックスの普及活動

ペット用品売り場での、継続した盲導犬チャリティーグッズ販売コーナーの設置や、チャリティーグッズ販売代理店を広め、グッズ販売を通じた盲導犬普及活動に寄与した。

販売代理店：新規 1 店舗を含む全 209 店舗

ペット用品売り場販売コーナー：ジョイフル本田 18 店舗

(4) 「盲導犬サポート SHOP」カタログの スポンサー獲得

年 4 回定期発行、「盲導犬サポート SHOP」カタログの広告スポンサーを獲得した。カタログ及びパンフ媒体による企業 PR の場を提供し、スポンサー企業商品の販路拡大を図った。

ヒライ企画、ベストエバー、ビクセン、平和会ペットメモリアル、アスク、ネスレ日本、BSP、国泰ジャパン、ハイメン、ニックナック、ソーシン
他全 18 社

(5) 盲導犬応援プロジェクトの スポンサー獲得

盲導犬応援プロジェクトの「声かけパンフ」を広めるため、企業スポンサーを募り、企業、法人を通じてのパンフの普及に寄与した。また、店舗、病院、盲導犬ユーザー、ボランティアを通じた設置配布、郵送書類への同梱先を開拓し「声かけパンフ」の広域な配布活動を行った。

スポンサー：泉屋東京店、サンギ、スタイル、マツブン刺繍、サニクリーン、ユーレックス、ライオンズクラブ、ダッドウェイペット

他全 42 社

(6) ライセンス契約商品を通じた盲導犬普及活動

ライセンス契約による盲導犬コラボ商品企画提案とその開発により、企業先販路での商品流通を通じた盲導犬普及活動に寄与するとともに、商品企画の実現をした。

サンギ、ハーモニック、国泰ジャパン、ベリー、BSP、三信商会、泉屋東京店、メーカーズシャツ鎌倉、TRYL、ヒライ企画、FMP、ソーシン、他全 24 社

(7) 支援、協力業務

日本盲導犬協会への協力業務を行った。

- ・職員用ユニフォーム製作
- ・スポンサーロゴ入り盲導犬 PR コートの製作

日立ドキュメントソリューションズ、北里メディカルドッグ

(8) 企画・運営

(i) 主催イベント

三井不動産ビルマネジメントの協力により、「夏のわくわくキッズフェス 2024 in 日本橋」を開催。小学生とその保護者へ向け、目の見えない、見えにくい方とそのパートナーである盲導犬についての理解を広げた。

(ii) 年賀状、カレンダー

協力企業運営のもと、年賀状カレンダーを通じた盲導犬の普及活動を行った。

- | | | |
|----------------------|------|----------|
| ・2025 年盲導犬チャリティー年賀状 | 発行枚数 | 44,710 枚 |
| ・2025 年補助犬応援団カレンダー | 発行部数 | 1,759 部 |
| ・2025 年うちの子チャリティー年賀状 | 発行枚数 | 1,600 枚 |

(iii) 催事出店

当年度は行っていない。

(iv) 募金活動

当年度は行っていない。

3. 通販事業

(1) WEB 通信販売

- ・「盲導犬サポート SHOP」 <https://www.gomoudouken.net>

会員数：46,249 人（昨期比 1,328 名増）

チャリティーグッズの販売、盲導犬・被災犬応援プロジェクトを展開した。

- ・「盲導犬生活サポート SHOP」 <https://www.gogomoudouken.net>

会員数：3,543 人（昨期比 171 名増）

全国の補助犬ユーザー、飼育ボランティア情報の管理・飼育用品及びドッグフードの販売を行った。また、補助犬ユーザーへ向け、犬用品の情報収集・提供並びに企業

協力による特価セールや暑さ対策品のプレゼントを実施した。

(2) 季刊カタログの発行

(i) 4月：盲導犬サポート SHOP Vol.73 20p

- ・贈り物に最適なチャリティーグッズを掲載し、ギフトへの活用提案
母の日ギフトに販売した折りたたみ傘が、内側にデザインをしたことが響き、さ
す人が楽しめる傘として好評。

(ii) 7月：盲導犬サポート SHOP Vol.74 20p

- ・酷暑を乗り切る人とわんこのクールグッズを掲載
購入者プレゼントにも保冷剤付き手ぬぐいや帽子用保冷剤を用意し好評。
- ・オリジナルデザインTシャツ、新作6種販売。

(iii) 10月：盲導犬サポート SHOP Vol.75 20p

- ・恒例となった補助犬応援団カレンダーに登録された犬猫の写真で表紙を構成
壁掛けカレンダー枠を購入し、そこに犬猫の写真を掲載し、補助犬を応援するカ
レンダーを作り上げる企画。かわいい犬猫で華やかな表紙となった。
- ・DADACA とのコラボデザイン缶チョコレートが発売
猫をモチーフとしたチョコレートで人気の CACAOCAT を、猫と楽しく暮らす盲導犬
をテーマにコラボデザインで発売。盲導犬のお仕事を真似して歩く猫とお家で盲
導犬にちょっかいを出す猫を表現。
- ・ヤマダとのコラボで、500種以上のシルエットを選んで作る「うちのこグッズ」発
売。シリーズ通じて好評を得ている。
- ・定期購入システム導入
定期的に購入されているドッグフードや日用品を手間なくお届けするシステムを
追加し、利用者の利便性向上と、継続的な利用、応援につながっている。

(iv) 1月：盲導犬サポート SHOP Vol.76 20p

- ・盲導犬サポート SHOP ファンクラブ第九期募集
前年約1200名の申込みとなったファンクラブを継続して募集。2種類から選べる
ピンバッジ、色が選べるTシャツは継続、新たに撥水ふろしきも追加し、全3コ
ースで展開。過去最高人数の申し込みとなった。

(3) 盲導犬チャリティー年賀状

17年続く人気企画であるが、はがき料金の値上がりを受けて、社会的にも年賀状
離れが進む傾向が見られた。その影響を受け、チャリティー年賀状の利用者数も
大きく減少した。

(4) 応援プロジェクト

(i) 盲導犬応援プロジェクト

盲導犬ユーザーと盲導犬が、より安心安全に歩ける社会を目指す。

- ・「声かけパンフ」総配布数：1,283,900部（昨期比96,000部増）

盲導犬ユーザーへのお手伝いの方法が分かるA6サイズの冊子を、広く配布し声かけを広める。

■主な協力・配布企業、団体等（順不同・法人格略）

- ・声かけパンフ

千葉幕張メッセライオンズクラブ、ハルパカ、新井組、ビクセン、エムエム建材、泉屋東京店、全東急ストア労組、柏ライオンズクラブ、東京都トラック協会足立支部、ヤマダ、横浜鶴見北ロータリークラブ、サンギ、荻窪法人会、山下商事BSP、ハッシュ、桜井ホンダ

- ・エルくん熊手ステッカー

盲導犬ユーザーが気持ちよく過ごせたお店に、ユーザー自身が配布するステッカーが全国の様々なお店へ配布された。累計1,350枚

(ii) 被災犬応援プロジェクト

福島県の被災犬保護シェルター「SORA アニマルシェルター」と連携を取り、必要な支援を行った。

- ・シェルター全頭分のノミ・ダニ・フィラリア駆除薬：累計975個
- ・ドッグフード 661kg
- ・医療費補助：累計1,401,695円
- ・里親募集ページに飛べるQRコード入り亚克力キーホルダーを作成し、里親募集を周知
- ・車中避難や自宅に取り残された犬猫の存在を知らせるステッカーを作成し配布
- ・多頭飼育崩壊から保護された猫が多くいる状況を受け、12月に猫も支援対象とするキャンペーンを実施。ストレス軽減を目的としたおもちゃを寄付した。

(4) 広報活動

(i) 電子メディアの運営

A) WEB ページ

- ・公式サイト <https://goguidedogs.jp>
会社概要、採用情報、各プロジェクトや犬と暮らす方へ向けたコラムを掲載
- ・通販サイト
チャリティーグッズの販売 <https://www.gomoudouken.net>
ドッグフード・飼育用品の販売 <https://www.gogomoudouken.net>

B) メールマガジン 19,645名（昨期比14名増）

オススメ商品及び犬と暮らす方へ向けた情報、プロジェクト報告の定期配信

C) SNS

- ・Twitter：盲導犬総合支援センター 8,414 フォロワー
<https://twitter.com/goguidedogs>
- ・Twitter：もうどう犬エルくん 8,719 フォロワー

<https://twitter.com/moudoukenLkun>

• Instagram : 盲導犬サポート SHOP

9,227 フォロワー

https://instagram.com/goguidedogs_design

D) SNSでの発信強化

- WEB 限定販売商品「軽量ワンタッチ魔法びん【good dogs】」
毎年好評のマグカップ企画の続編。480 本以上の予約となった。
- WEB 企画「ほじょ犬の日は、クイズ&メルマガ登録でアクキーGET」
クイズによりほじょ犬への理解を促進し、継続支援者となるきっかけであるメルマガ登録を促すことで、安定した理解や支援を目指した。

(ii) メディア掲載

期間	媒体	内容
2024.10.25	OVO	盲導犬と黒猫が届ける極上のチョコレート 北海道産チョコレートの「CACAO CAT」と盲導犬サポートSHOP がコラボ
2024.11.27	サードニュース	シリコンがまぐち「ぼちの POCHI」が再出荷！色鮮やかな新たなラインナップ登場
2024.12.11	OVO	盲導犬ユーザーにこんなふうに声をかけてみよう！「声かけパンフ」配布が 120 万枚突破

II. 管理・運営・寄付・他会計

1. 理事・顧問・監事・従業員状況（令和7年3月31日時点）

理事 4名、監事 1名、社員 3名、パート 8名
休職：社員 1名

2. 理事会及び社員総会の開催状況

(i) 理事会及び Operation MTG

開催日：2カ月毎第4週1回

議事：月次決算報告、日常業務の執行及び重要業務の協議決定

※2025年3月開催をもって、第100回の開催を迎えた

(ii) ステアリング committee

開催日：2カ月毎第4週1回

議事：体制、課題と成長戦略

(iii) 社員総会

開催日：令和5年5月27日

第1号議事：事業報告、決算の承認及び監査報告

1 貸借対照表

2 損益計算書（正味財産増減計算書）

3 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属書類

3. 寄付金

日本盲導犬協会：2,000,000円（累計額：19,477,737円）

全国盲導犬使用者の会：100,000円

日本赤十字社：30,000円

4. 他会計（非営利事業）

日本自動車販売協会 神奈川支部からの寄付により、神奈川県にお住まいの盲導犬ユーザーへドッグフード支援を行った。

■ 収入：100,086円

A) 個人寄付：0件 0円

B) 法人寄付：1件 100,000円

C) その他：1件 86円

■ 支出：67,375円

A) 活動費：66,990円

B) 管理費：385円

C) その他：0円

■ 収支計 32,711円

詳細に関しては、附属明細書に収支表を記載する。

Ⅲ. 附属明細書

1. 他会計収支計算書（非営利事業）

前年度繰越金額： 119,652 円

収入の部

科目	区分	適応	金額
寄付	個人 (個人名省略)		
		法人	社) 日本自動車販売協会
その他	入金	利息	86
	振替	一般会計からの借入金	
当期収入合計			100,086

支出の部

科目	区分	適応	金額
管理費	事務費	振込手数料等	385
	旅費交通費		
	会議費		
活動費	特定寄付		
	プロジェクト		
	盲導犬ユーザー	ドッグフード支援	66,990
その他	返金		
	一般会計振替		
当期支出合計			67,375

次年度繰越金額： 152,363 円

一般社団法人 盲導犬総合支援センター